



小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

人間が生きていくのに、土は必要なの



土は、人間の食べ物である植物や動物を育て、ふんや死体、ごみなどを分解して、養分にもどす役目をしているのさ。

土は、さまざまな生き物の、食べ物を支えている

米やパン、野菜や果物など、人間の食物の大部分は、土が育てた植物がつくりだすものです。肉や魚も、もとのブタやウシや魚を育てている食物をたどると、植物であることがわかります。

植物は、日光さえあれば、根から吸い上げた水と空気中の二酸化炭素からデンプン（栄養）をつくりだし、土中のごくわずかの養分があれば成長していきます。この植物がつくった栄養が、ほとんどの生き物の命を支えているといえます。

土は、生物の命のじゅんかんを支えている

かれた植物や動物のふんや死がい、いつまでも残っていたら、地上は、これらのごみでいっぱいになってしまいます。実際は、ダンゴムシ、ゴミムシ、ミミズ、トビムシ、ダニ、さまざまなバクテリア、カビなどのそうじ屋さんが、これらのものを食べて細かく分解し、最後には、植物を育てる養分にまで変化させます。これらのごみのかけらや養分は、雨水で川や海に運ばれ、水中の生き物のえさになり、人間が食べるような大きな魚や貝などの命を支えています。

土は、激しい気温変化や、水不足を防いでいる

植物がしげっている土は、昼間、日光の熱を吸収し、夜、少しずつ空気中に熱を出して、気温の変化をおだやかにしています。地面から深いところは、1年中ほとんど温度は変化せず、生き物たちの命を気温変化から守っています。また、大量の地下水をためていて、地球上の水のじゅんかんで大変な役目をはたしています。

このように、土は、人間やあらゆる生き物の命を支えているといえます。

コンクリートの建物が並ぶ街の中が暑いのは、土や植物がないせいなんだ。

